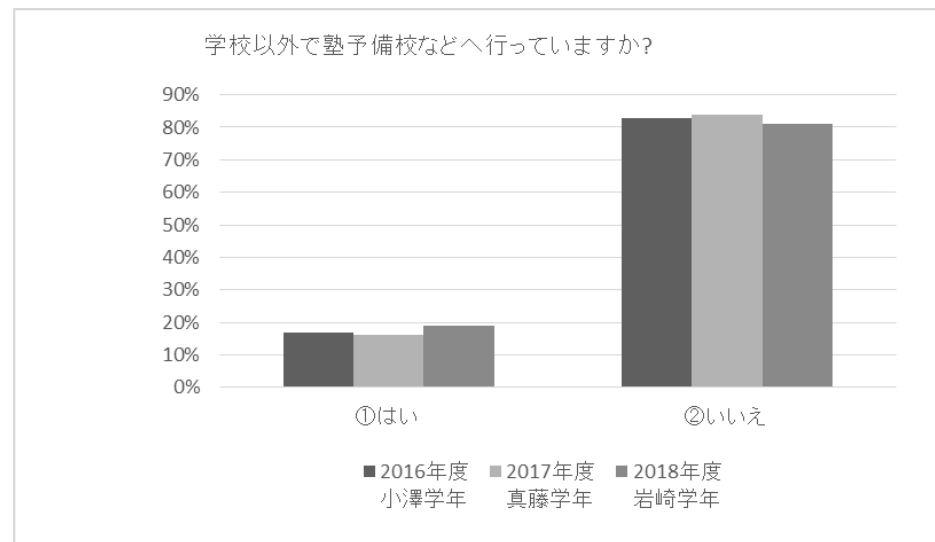


1. 今までの学習方法ではついていきません

- ① 授業のスピード、難易度が上がる
- ② 予習—授業—復習のサイクルを身につける
 予習は「仕分け」・・・わかるところと、わからないところを確認する作業
 復習は「整理整頓」・・・整理された1の知識は、整理されない10の知識に勝る
- ③ 英、数、国は実力が付くまで時間がかかる教科
 4 / 11 (木) 学習方法ガイダンスで具体的な学習方法を説明

2. 塾、予備校に通う必要はない

- ① 授業の予習、復習、課題の仕上げ、定期考査の準備が基礎学力を養う
- ② 部活動と勉強を両立するには、学校の授業の活用法がカギ
 通塾率調査 (過去3年間)



- ③ 授業で得た知識・考え方を、学校の教材を使って繰り返す作業が大切
 すぐに答えを見ない、聞かない

3. 学習時間の確保

勉強とは時間のこと (時間が確保されて初めて質が上がる)
 <平日> : 学年 + 1 時間 (最低)
 <休日> : 学年 + 2 時間 (最低)
 スキマ時間の活用 (朝の10分, 休み時間, 電車の中)

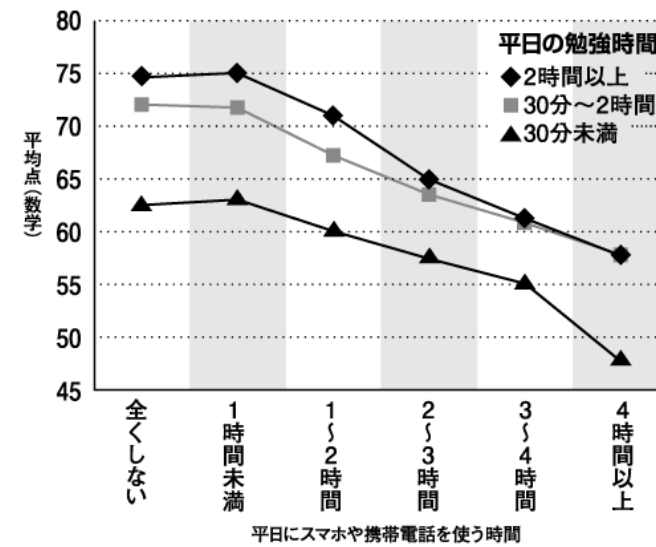
4. 部活と勉強の両立のコツ

- ① 土日に学習の貯金をする
- ② やらなければならない項目の優先順位をつける
- ③ どんなに疲れていても学習0時間の日は作らない
- ④ 朝型のリズムに切り替える (10-4 11-5)

5. 新入試で問われる力

仙台市の市立中学生約2万4000人に対して行われた「仙台市標準学力検査」と「仙台市生活・学習状況調査」をもとに分析したグラフ (H25)

スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点



資料を読み解く力
 解釈し自分の言葉で表現する力

6. ノートの取り方

- ① 自分のルールを決めよう
- ② 板書はもちろん、口で説明した重要項目もメモ
- ③ 復習で徹底チェック (余白を大きく)
- ④ きれいさにこだわる必要はない
- ⑤ 授業用ノートと問題演習用ノートは分ける

字が薄くて読めない答案が最近目立ちます。しっかりと丁寧 (上手くなくてもいい) な文字を書く習慣を。

7. 定期考査の準備が真の学力を育成する

- ① 2週間前くらいから準備を始める
- ② 考査1週間前から部活動停止期間
- ③ 教室は17:00まで 自習室は18:30まで使用可能

8. わからないことは積極的に先生に質問

- ① 友達同士で議論すると、わかることも多い
- ② 先生を積極的に活用 (会議の時間は厳しいが)

9. 5月21日 (火) から始まる中間テストまでの取り組みが高校3年間の学習成果を決定する

楽しくても、楽ではない高校3年間で自らの意思で送る

(自由闊達) (文武両道) (自主自立)